

○プログラム名：検査医学・輸血学会認定医、専門医養成コース

○プログラムの概要（目標・特色など）：

検査に精通した医師の育成に努める。専門性を特化したコースである。臨床検査医学会認定臨床検査医および輸血学会認定医の基礎、取得を目指す（学会在籍5年間）。また、昨今話題になることの多い耐性菌などの問題に取り組むべく、微生物検査を通して院内のインフェクションコントロールを行うことも可能であり、かつICDさらに感染症専門医の取得も目指す。

○年度ごとの研修内容（例）：

1年目	臨床検査医学科（中央検査部、輸血部）	総合診療科2ヶ月
2年目	臨床検査医学科（中央検査部、輸血部）	
3年目	臨床検査医学科（中央検査部、輸血部）	
4年目	臨床検査医学科（中央検査部、輸血部）	
5年目	臨床検査医学科（中央検査部、輸血部）	認定医申請

○臨床検査医学科 週間予定表

第1から4週

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	検査部朝礼	検査部実習	輸血部実習	検査部病棟回診	外来業務 教授外来陪席 HIVや凝固異常症に対する検査・治療法や技能の習得 新規患者予診	自己血業務 (予診、採血)
午後	症例検討会 症例呈示、結果報告、 治療方針の討議 教授回診	自己血業務 (予診、採血) 院内感染対策サ ーベイランス業 務	輸血部 実習	検査部 病棟回診	自己血業務 (予診、採血) 院内感染対策 サーベイラン ス業務	
夜間	医局会（毎週） 抄読会（第1週目） スタッフミーティング （第3週目） 当直業務（月2-3回）	午後6時 院内研修会				

○臨床検査医学科における症例検討会・研修医向けレクチャー等

開催日時	内容	担当者氏名
毎週月曜日・午後3時～5時	症例検討会：症例の提示と検査、治療計画の報告と確認	福武教授
毎月第1月曜日・午後6時～7時	抄読会（兼研修医向けレクチャー） 文献の紹介と解説、EBMの重要性の確認	天野助手、尾形助手
毎月第3月曜日・午後6時～7時	スタッフミーティング（HIVアップデート） 眼科医、神経科医、口腔外科医、皮膚科医、福祉相談員、外来および病棟看護師、臨床心理士を交えてのHIV患者およびHIV治療に関するミーティング	山元講師、西田講師、天野助手

開催日時	内容	担当者氏名
毎月第3火曜日・午後7時～9時	HIV 拠点病院連絡会議	福武教授、山元講師、西田講師、天野助手
毎週火曜日・午後3時～5時	輸血レクチャー：輸血業務、輸血副作用、不規則性抗体	高橋助手
毎週水曜日・午後4時～5時	臨床検査レクチャー	腰原講師、香川講師
毎週金曜日・午後4時～5時	血液凝固異常症レクチャー	西田講師、鈴木助手

○取得できる資格（認定医、専門医、学位）：

現在、当科には、日本内科学会認定医3名、日本臨床検査医学会認定臨床検査専門医が10名、日本輸血学会認定医が3名、日本血液学会認定血液専門医・指導医が2名、インフェクションコントロールドクターが3名在籍する。尚、臨床研究の延長上に、また基礎研究においても学位の申請が可能である。

○コース終了の評価・認定方法（専門医取得など）：

臨床の基本的知識の充実と発展、関連学会における発表など、さらに上記に掲げた専門医、認定医を取得することによりプログラム終了とし評価する。

○処遇、待遇（給与、院外勤務）：

初期の3年間は後期研修医として月額20万円が支給されます。当直を行った場合には1回につき9800円が支給されます。週1日（半日ずつであれば2日）の院外勤務が可能。これに対する給与は勤務先から支給されます。健康保険、厚生年金、労災保険に加入します。4年目以降の処遇に関しては病院の規定に従う。